

アジア・アフリカ ラテンアメリカ

今月の読み物

- 2、3面 常任理事会
- 4、5面 会員を迎えています
- 6面 列島AALA
- 7面 沖縄連帯ツアー
- 8面 私とAALA

日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会機関紙

2017年11月1日 No.688



ノーベル平和賞 受賞



核兵器廃絶は世界の流れ 日本政府は核兵器禁止条約に署名を!

10月6日、ノルウェー・ノーベル賞委員会は、2017年ノーベル平和賞をICAN(核兵器廃絶国際キャンペーン)に授与すると発表しました。ICANは2007年にウィーンで結成され、現在、日本を含む100カ国以上に組織があります。結成以来、日本の戦争被爆者たちとともに、核兵器の非人道性を訴えて運動を広げ、7月に国連の交渉会議で122カ国の賛成で採択された核兵器禁止条約の交渉推進に貢献しました。日本AALAは、核兵器禁止条約の採択とともに今回のICANのノーベル賞授賞を「核兵器廃絶にむけた歴史的な前進」と歓迎し祝福します。人類初の核兵器禁止条約は、核兵器を違法とすることによって、「抑止力」論や段階的削減論など核兵器を正当化する議論を打ち破り、核固執勢力を孤立させる大きな力になると確信します。「米国の核のカサ」を理由に核兵器禁止条約に反対する日本

政府は10月8日になって、ICANのノーベル賞受賞について外務省外務報道官談話を出しましたが、核兵器禁止条約の署名については言及していません。私たちは日本政府に対してこれまでの態度を変え、核兵器禁止条約へのすみやかに参加することを強く求め、「ヒバクシャ署名」運動にとりくむとともに、非同盟諸国首脳会議のオブザーバー組織として、インドやパキスタンをはじめ条約未参加の国の政府に、非同盟運動の原則にたちかえって参加と批准をおこなうよう要請していきます。

パレスチナ問題の映画と講演のつどい(予定)

12月9日(土) 13:30~16:30

中野サンプラザ 7階研修室

映画「ヘブロン」(65分版) 土井敏邦氏の講演

アジアと世界との連帯を強め 戦争する国づくりを阻止しよう

10月22日の総選挙の結果、自民・公明の与党が全議席の3分の2を超え、改憲勢力が国会で多数を占めました。これにより、私たちが平和の拠りどころとする憲法9条への明文改憲の動きがさらに進むと考えられます。世界、とりわけアジアでこれに対する警戒が広がっています。

一方、海外での戦争加担を可能にした「新安保法制」を違憲とする立憲民主党は躍進し、野

党第一党になりました。選挙情勢の急変のなかで立憲民主党・日本共産党・社民党は、市民連合と政策合意を結び、32小選挙区で野党統一候補が自公連合に競り勝ちました。結果、改憲勢力(自、公、希、維、こころ)は15減、立憲、共産、社民の護憲勢力は31増となりました。ここには「戦争国家への道は許さない」とする強い民意が反映されていると考えます。示された市民連合と野党の統一した力をさらに広げ、アジアと世界の諸国人民との平和と連帯を強めて、9条に自衛隊を明記させることを許さず、海外で戦争できる国づくりは断固阻止、平和なアジアと日本の構築をめざして、がんばりましょう。

9条改憲許さない！

第1回常任理事会

平和の東アジア共同体めざす大会活動方針を具体化

2017年9月30日、第1回常任理事会が開かれました。安倍首相が国会を解散・総選挙を表明し、事実上の選挙戦が始まっているなか、全国から23名が参加しました。情勢と当面の国際活動、具体的なとりくみの提案の後、述べ14人が国際署名、パレスチナ問題、安保・基地問題、原発、会員拡大・学習会などについて実践に基づく発言をし、協議しました。今度の選挙で9条の明文改憲を含む戦争国家への道を許すのか、阻止するのかは、AALA諸国民との連帯を進めるうえで重要な転換点になります。安倍政権の退陣と9条改憲勢力を後退させる歴史的なチャンスとして奮闘する決意を固め、「解散・総選挙にあたってのアピール」を採択し会員が直ちに行動を起こそうとよびかけました。

高橋昌平常任理事を議長に選出、澤田代表理事が開会あいさつをし、緊張を増す国際情勢のなかで安倍政権と対決した野党共闘の前進と日本AALAとして総選挙にとりくむ意義を強調しました。

深い討論で方針が豊かに

田中代表理事が「情勢と当面の国際活動」について、①朝鮮危機と核兵器禁止条約の締結、北東アジアの平和の展望②東アジアの平和共同体をめざす運動と国際署名の中間的総括③中東情勢とパレスチナの国家承認を求める署名運動と学習の強化④中南米への米国の巻き返しと干渉反対の連帯運動、の柱でこの間の活動を報告しました。また日本AALAが常設書記局のメンバーで創立60周年を迎えるアジア・アフリカ人民連帯機構(AAPSO)の活動について報告し、年末の60周年記念行事への参加を検討したいと提起しました。

これに基づいて野本事務局長が当面の行動計画として①署名をとどけるフィリピンツアー②沖縄連帯の名護市長選挙支援ツアー③第4次国際署名など各種署名運動の推進④沖縄新基地やオスプレイ配備反対運動、原水禁運動への参加⑤会員拡大と組織強化について提案しました。

協議では、北朝鮮問題に関して、北朝鮮にたいして対話に応じるよう要求するなど、踏み込んだ態度表明が必要ではないかとの意見、横田基地に朝鮮国連軍の後方司令部が置かれるなど、日本が朝鮮戦争の休戦体制の直接の当事者となっていることを踏まえる重要性が指摘されました。

核兵器禁止条約の採択について、非同盟諸国首脳会議のオブザーバー組織として、北朝鮮だけでなく、

インドとパキスタンに署名を促そうという行動提起がありました(書簡やメッセージを送り発表することを検討)。インドの核開発に関連して、安倍政権によるインドへの原発輸出、日印原子力協定に抗議したい、中国をにらんだ日米印による共同軍事演習にも抗議すべきとの提起、日印原子力協定についてはインド政府の狙いなど、よく研究すべきだとの指摘がありました。

ミャンマーのロヒンギャ問題の対応について複数の意見が出され、非同盟諸国の50カ国以上が参加するイスラム諸国機構による非難や被害者救援のよびかけがあり、無視できないのではないかと、一方、複雑な経過と国連を舞台にした双方の非難、宣伝合戦があり、事実関係をよく調査すべきだとの指摘がありました。少数民族への抑圧はやめよ、外部から干渉はやめよという基本原則にそって対応すべきとの意見がありました。

ASEAN との交流重視を

東アジアの共同体をめざす国際署名の活動が壁について、「国民へ訴えかけるアピールとして取り扱い、広く賛同を求める運動にするために著名人や団体の連名アピールにすることを検討すべきだ」、「アジア諸国民との連帯に本腰を入れた活動をすべきだ」、「紛争の平和解決を実践してきたASEANの活動は東アジアの平和共同体の核になりうる」、「戦争する国づくりへの対案になる」、など、中国、韓国とともにASEAN諸国民、平和団体との交流を重視する意見がだされました。

パレスチナの国家承認を求める署名活動についても、「複雑で困難な情勢下でもイスラエルの不当な占領支配や弾圧への国際的批判が広がり、安倍政権がイスラエルへの武器輸出をすすめるなど新しい情勢がある」、「パレスチナ支援だけでなく、イスラエルへの抗議をもっと行おう」との提起がありました。それを踏まえて現状を知る学習活動と一体ですめることが確認され、当面、東京と関西でそれぞれ学習会開催にとりくむことになりました。

専門部会の運営改善

大会決議の執行機関として常任理事会や各部の部会の在り方、組織運営についてさまざまな提起がありました。常任理事会の議事録の作成、採択された大会決議を情勢と方針全体を機関紙で周知する必要が提起されました。情勢の変化や重要な国際問題が

生起したときに専門家を含めた集団的な討議で対応を決めること、さらに国際交流や会議参加の仕方や内容を豊かにし、その成果を全体のものにするために事前の学習や討議、事後の報告活動の重要性が提起されました。

常任理事会に先立って東京で行われた国際部会の懇談会で、「専門部会の開き方に意見がだされ、限られた予算のなかで頻繁に全国規模の会儀を開くことは困難ななか、どう効率的に運営していくか」、「関東、関西を中心にそれぞれ開催をして成果を役員会に集中する」、「インターネットを利用したテレコン会議をする」、「関西の代表が東京の専門部会議に参加する」などの提案がありました。

慰安婦問題委員会の活動が休止状態にあることを直視し、歴史認識と過去の反省の問題へのとりくみをどう再生するかを考える提起がありました。学習会のテキストとして、理論情報誌が役立っており発行の継続を求める意見がだされました。国際部会では学術部会と協力して、一般マスコミが伝えない海外の動向、たとえば北朝鮮問題の外交解決と対話を

求める世界の動きを紹介していこうとの提起がありました。

魅力を生かす会員拡大

会員拡大について、「60年史」の普及をもっと手立てを尽くして進めるべきだとの意見がありました。また拡大はAALAの魅力はどう伝えるかにかかっていること、そのために会員自身が感じているAALAの魅力を組織として確認する必要が訴えられました。

以上の意見を活動方針に加えて充実させることとし、野本事務局長が提案した当面の活動計画（別項）を承認し、とりくむことになりました。総選挙に臨む常任理事会のアピールを採択。最後に吉田代表理事が、閉会の挨拶をおこない、日本AALAの運営について積極的な意見がだされるのは良いことであり、中身の濃い議論だった、戦争する国か平和国家の道かの対決である総選挙に勇躍して取り組もうとよびかけました。

《当面の次の行動を実践しよう》

連帯活動と沖縄連帯ツアー

2017年日本AALAフィリピン訪問団

目的 ①「国際署名」を届ける②平和・協力のアジアをめざす立場でフィリピンの人々（平和活動家、大学の先生、弁護士）と交流③フィリピン社会の実情を見聞し、日本の過去の戦争について考察④フィリピン料理や観光をたのしむ

沖縄県民との連帯と名護市長選挙支援ツアー（2018年1月）

目的 沖縄AALAとの交流と組織の強化、軍事基地撤去・オスプレイ配備反対運動支援、普天間基地撤去・安心安全な市政実現する活動、戦跡めぐり

中国雲南省の菜の花の里・羅平と元陽の棚田散策（2018年2月）

署名の推進

「戦争するな!どの国も」国際署名

第3次署名は約1万2000筆集約しました。10月から「第4次国際署名」活動を始めます。2018年ASEAN議長国シンガポール・ASEAN議長国への提出をめざします。10万筆を目標にして諸団体と共同して進めます。

「安倍9条改憲NO! 憲法を生かす全国統一署名」の取組み

改憲発議をさせないための3000万署名運動、来年6月までに達成。各地域の共同センターに参加して進めます。

パレスチナ国家承認を求める署名

学習をおこない、各都道府県の国際友好団体と協力して署名活動を進めます。

沖縄の新基地建設反対、オスプレイ配備反対のたたかい、原水禁運動

各地のオスプレイ配備や米軍基地撤去の運動の支援と交流

10/28、29（土・日）日本平和大会（山口県岩国市・開閉会集會 防府市）

沖縄辺野古米軍新基地建設反対

原水禁運動への積極的参加

来年の3.1ビキニデー、原水禁大会国際会議に参加します。

核兵器禁止条約の批准を政府に求める活動を進めます。

「ヒバクシャ署名」運動に取り組みます。

会員拡大と組織建設 5000名をめざした組織拡大

各都道府県 2018年7月までに4000名実現の自主目標を立て、進めます

拡大実現のため、節は第1期・11月末まで、第2期・来年3月末まで、第3期・来年7月末までとします。

組織確立と強化のために四国、九州での組織づくりを進めます

各ブロックで空白県に組織結成をめざします。

日本AALA理論情報誌第7号の普及と学習の推進

萩原伸次郎・横浜国立大学名誉教授の記念講演に加筆 頒価 300円

会員をむかえています

第53回定期大会以降、AALAの会員を増やすとりくみが各都道府県で強まっています。大阪、奈良、東京からの報告を紹介します。

東京AALA AALAに加入しませんか 気軽に呼びかけましょう

趣味の会が終わり、懇親会で世界情勢や日本の政治、AALAの話になりました。自宅で宣伝物のデザインを仕事としている人が、西東京の地域でのとりくみを知りたいとのことでした。「それならAALAに入会したらいいですよ」となって加入。「わたしとAALAの60年」を買っていただきました。彼の奥様はコーヒー通で、AALAのオスバルコーヒーに関心を持っているとのことでした。

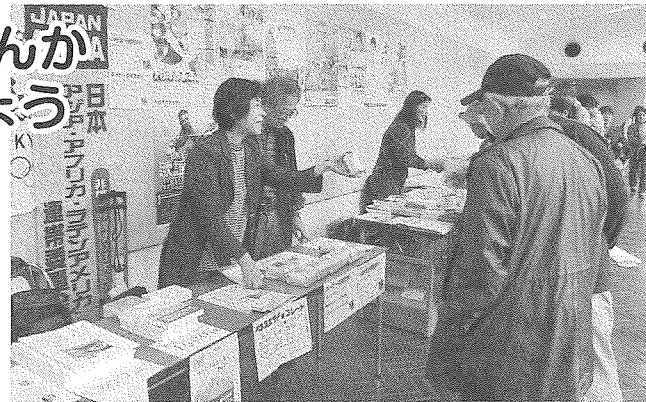
西東京では年末に要求を掲げて市民パレードを毎年とりくんでいます。出発に先だつ集会で、青年が「戦争法反対など」を発言しました。私は司会をしており、知り合いになりました。次の企画「戦争を許さない西東京」の会の結成集会に、その青年が音響関係で会館側との調整に走り回っていました。その後、都内で開かれたAALAの学習会でばったり思いがけず出会ったので「AALAに入会して」と声をかけて加入していただきました。

選挙に立候補してがんばっていた30歳の青年とは、選挙事務所できるときに出会ったので、顔見知りになっていました。佐川さんは「東アジアに平和の共同体をつくらう」とすると、ASEANのなど学ぶにはAALAに入ってほしい」と前から声をかけていたのです。「よく考え

る」ということでしたが、AALA西東京支部総会に小松崎さんの講演があることを知らせると、彼は多忙なのかを「聞きに来ます」と出席してくれました。「ASEAN50年の歴史」から歴史を大局的につかむことなど学び、入会してくれたのです。

日本AALA定期大会で「いつでもどこでもAALAに入ってください」と声をかけようとの訴えがあったように「AALAに入りませんか」と声をかけたことで加入していただきました。また、次のことを心がけています。

- ①どなたに勧めたいか、理事会で無理のない程度に名前を出して、忘れないこと



- ②西東京AALAの存在を「国際署名」の団体要請や個人のつながりを通じて広げるように努めること

- ③地域には数々の市民運動があり、自分にできることで関わるように努め、知り合いを広げること。

- ④「AALAカフェ」を何年か継続し、北朝鮮やトランプ政権などの国際情勢を気軽に話せる支部活動を知らせること

(西東京支部事務局長 増賀美津子)

大阪AALA AALAの魅力をと もにする仲間を

大阪AALAはこの半年間で13人の会員を迎えました。しかし、一方で会費請求をするたびに退会者があり、かろうじて現状維持の状態が続いています。

私がこの半年間で増やした人は、

いっしょに旅行した人、学習会で出会った人、団体の会議で出会った人、堺市長選挙の応援のなかでなど合計11人。「よく増やしたなあ」と思います。しかしすべて1人で増やしたわけではありません。副理事長が同行

奈良AALA 思案するよりとにかく一歩

7月の定期全国大会成功に向けてナラーラには本部より5人の拡大目標が提起されました。5人という数字は小さいようで、いざ実行するととなかなか困難な大きな山です。

ナラーラにいちばん欠けていたことの一つに「数字に対するこだわり」の欠如がありました。あれこれ思案するより、とにかく一歩足を踏み出そうと、一点突破の意気込みでまず新会員を迎え入れたのが宮城理事長でした。その後は常に「あと何人」を念頭に置き、残り目標をゼロにするまで意識的に相談しました。

やっと5人が達成できると、次なる新たな自主目標をナラーラ最高時の会員数まで回復することに置き、あと2人の拡大にとりくみました。しかしこの山は残念ながら登りきることなく大会を迎えてしまいました。

今後は「数字にたいするこだわり」を持ち続けて当面ナラーラ最高

時の会員にし、これをスタートラインにすることができれば本当の意味での組織拡大になると心に言い聞かせています。

もうボチボチ「…減ったり…増えたり…減ったり…」の悪慣れサイクルから卒業しなければなりません。また、会員拡大に必要なものとしてナラーラ入会しおりがあり、いまリニューアル中です。

もう一つ大切なことは、会員拡大と同時に現会員にたいする気配り・心配りを常におこない「減らさず増やす」活動スタイルを定着させることです。とりわけ年金生活者をはじめとして大切な高額の会費を納入し



奈良AALA事務局
〒831-4302 奈良市白旗町2-10
TEL/FAX 0742-26-0340
〒 増 (郵便局)
TEL 0742-24-2213

会費
入会費 6000円
（当月の会費(初月)年会費(初年)含む）
会費 8000円
年会費 101000円以上
09900-5-189117

してくれたり、前もって話し込んでおいてくれたりということもあります。複数で行動することも必要だと思います。

そこで、どうやって会員を増やすかです。その基本となるのは、私たち自身がAALAの活動に魅力を感じているか、「あの人にも入ってもらいたい」と思っているかどうかか問われているのです。自分が魅力を感じていないなら、それを人に伝えられません。声をかけることもできません。会員増やしのエネルギーは、「活動のなかにいる自分のなか」にあります。日本AALA53回大会に初参加の2人の役員が、AALAの魅力について書いています。(大阪AALA機関紙9月号)この内容をじっくり相手に伝えることの大切さを感じています。

もう一点大事なことは、入会してほしいと声をかけるとき、その人の話をよく聞き、共感することです。入会してくれる人はほかの分野の活動で奮闘している人です。私たち以上に忙しい人もいます。その分野・団体の活動を聞いて、AALA



の活動と魅力を語れば必ず共感が生まれます。相手の活動から学べます。だから拡大は楽しいのです。しかし、これを単に「心の持ち方」、精神論にしてしまうのではこの話はそこで終わりのなのです。9月の常任理事会で、「組織拡大を組織的にすすめよう」ということを確認し、そのための「組織拡大委員会」の発足を決め

ていた方へははいねいに一筆添えたお礼のハガキを出し、「会員相互の意思疎通・会員を減らさない」努力の一助にしようとスタートしました。

毎年度の会費納入率100%達成というシッカリした組織ができるなら、会員拡大の更なる新たな取り組みも可能になります。いまのところ今年度会費納入率は87%ですが早急に100%めざしてがんばります。(事務局長 真下均)

ました。AALAの魅力と存在意義を確認しあいながら、組織として会員を増やしていく活動を軌道に乗せていきたいと思っています。

先日長谷川理事長が業界団体のトップの方2人を会員に迎えました。いま、理事長は「会員拡大の先頭に立とう」と語っています。(事務局長 上村得世)

元気で!



列島AALA

埼玉

音楽と講演のつどい

自由民権運動の地、また埼玉 AALA 発祥の地でもある秩父で、2010 年以來、久しぶりに 9 月 9 日に「連帯のつどい in 秩父」が開催できました。オープニングは、16 人のジャズオーケストラによる演奏でスタートしました。30 分間の演奏と歌で楽しいひと時をまずもつことができました。

日本 AALA 代表理事の田中靖宏さんは、「平和への願い 戦争を起こさせないために! 東アジアからみた世界の情勢」という演題で、



北朝鮮問題に対して日本 AALA の出してきた見解を詳しく分析・説明しました。北朝鮮危機にどう向き合うべきか。核・ミサイルを放棄させるにはどうすれば良いか。核兵器禁止条約はなぜ生まれたか。「大国」中国とどう向き合うか。対立を協力に変える平和の展望はどこに、などを中心に話を進めました。さらに日本政府の政策の是正を求めること、米朝は核脅迫の応酬をやめ対話を求めること、危機を平和のチャンスにすべきことを強調しました。

「連帯のつどい in 秩父」には、ジャズオーケストラの方を含めて 140 人が参加しました。「つどい」の成功の鍵は、現地の会員が中心となって参加者の拡大に粘り強

く努力してくださったこと、秩父地域の 11 もの団体に後援をいただいたこと、「つどい」開催案内のチラシを一般新聞等に折り込んで秩父地域への宣伝を強化したことでした。地元秩父に事前の打ち合わせで 3 回訪問したことも「つどい」成功の一つになったのかと思っています。

後日、秩父で中心になって準備をしてきた長橋さんから次の報告をいただきました。「何人かの人から『北朝鮮のミサイル発射でテレビなど大騒ぎしているけど、田中さんの講演を聞いたので心配しなかった。よい話が聞けてよかった』との電話があった。この力を実践に結びつけたい」

(事務局長 久保田三徳)

広島

冒頭解散に抗議
全立憲野党に参加呼びかけ

安倍政権が憲法違反とも言える臨時国会冒頭解散をした 9 月 28 日夕方、「ストップ! 戦争法ヒロシマ実行委員会」が緊急アピール行動を市内繁華街で開いた。市民など 80 人が参加して 1 時間にわたって衆院解散に抗議した。

行動を呼びかけた実行委員会共同代表の山田延廣弁護士と秋葉忠利・元広島市長が「安倍政治こそ国難だ」「北朝鮮との会話を閉ざして圧力だけでは解決しない」など訴えた。実行委員会は各政党に参加を呼びかけたが、これまで幾度か参加していた民進党は不参加。希望の党に吸収されると伝えられたためだあることは明らかだった。

立憲野党から日本共産党の大平善信前衆院議員、社民党の壇上正光・県連合代表、新社会党の三木



郁子・県本部委員長がマイクをにぎり「希望の党はまさに国難をもたらす極右政党」「自民と希望が連携すれば改憲は可能になり自衛隊が明記される。そうなれば核兵器をもって戦争をはじめることになる」と訴える一方、「市民と立

憲野党の共闘でピンチをチャンスに変えよう」と市民に呼びかけた。

通行中の市民も立ち止まって話に耳を傾けていた。また、テレビも 2 社、新聞記者も取材した。同実行委員会は 2 年前から「総がかり」的な広範な市民の結集で活動を続けている。秘密法、戦争法、共謀罪など節々で大がかりな集会を野党の参加を含めて開いてきた。2015 年 9 月には 7000 人の参加で「NO WAR NO ABE」の人文字を成功させた。

(事務局長 利元克巳)

日本 AALA 理論情報誌 7 号を普及しましょう

理論情報誌 7 号『トランプ政権の戦略と経済外交政策』は、萩原伸次郎横浜国立大学名誉教授が 7 月に東京都 AALA 総会の記念講演に加筆したものです。アメリカ・トランプ政権の経済外交政策を理解するうえでの絶好のテキストです。是非お読みください。広く普及できるよう各都道府県 AALA がまとめて日本 AALA にお申し込みください。また、個人でのお申し込みもお願いいたします。頒価は 300 円です。

沖縄県 AALA 理事長の田港朝昭さんから 2018 年の「沖縄連帯ツアー」を歓迎するメッセージが日本 AALA に寄せられました。昨年 1 月上旬、日本 AALA の「沖縄連帯ツアー」には全国から 25 人が参加し、宜野湾市長選挙支援の活動をおこなうとともに東村高江のヘリパッド建設・辺野古新基地建設反対のたたかいに連帯し、沖縄 AALA との交流、南部戦跡めぐりなどをおこないました（写真は今年のツアーで大浦湾を背にして撮ったものです）。



「沖縄県民との連帯・支援ツアー」心から歓迎

沖縄県 AALA 理事長 田港朝昭

沖縄は米軍支配のもと軍事的圧力を絶えずうけてきた。たとえば、先月から今月にかけて、米軍機オスプレイに抗議する県内二紙社説の表題だけでも、「日米は危険性直視せよ」R（琉球新報）、「欠陥機の配備撤回求める」R、「本当に操縦ミスなのか」O（沖縄タイムス）、「不安はますます高まった」R、「『メーデー』は墜落の証拠」R、「欠陥機は一刻も早く去れ」R、「配備見直し負担減図れ」O、「差別やめ沖縄か

ら撤退を」R など 8 点があります。なぜこのように「配備」反対の声が大きいのか。「支援ツアー」はぜひとも米軍支配の実体を見とおしてほしい。また、「しんぶん赤旗」に見える、「『人的ミス』では済まされない」、「『オスプレイ・ノー』の審判を」の主張が参考になりましょう。なお、「治安維持法体制下」における、「戦前期沖縄の抵抗」にも視線を拡げていただきたい。

2018 年 1 月 15 日（月）

羽田から那覇空港

不屈館（瀬長亀次郎記念館）、琉球新報博物館、嘉数高台（普天間基地を見学）、旧具志川市昆布（昆布土地を守る会）

1 月 16 日（火）

辺野古漁港・ゲート前訪問、大浦湾見学（グラスボート）東村高江、講演会（琉球新報記者の報道の役割について）

1 月 17 日（水）

名護市での連帯・支援活動

1 月 18 日（木）

名護市での連帯・支援活動（希望者のみ）、オプションツアー（南部戦跡めぐり）那覇から羽田空港

■宿泊 15、16 日 名護市内ホテル、17 日 那覇市内ホテル

■旅行代金 88,000 円

参加申込先：富士国際旅行社 03-3357-3377 問い合わせは日本 AALA へ

日本 AALA フィリピン訪問団に参加しよう

2017年12月3日(日)

羽田からマニラ

クラーク元米空軍基地跡、元米海軍基地跡のスービック見学
 <スービック泊>

12月4日(月)

バター原発見学、スービック基地跡で活動する NGO 訪問
 <スービック泊>

12月5日(火)

署名提出、非核フィリピン連合との懇談・交流
 <マニラ泊>

12月6日(水)

スラム街で活動する NGO 訪問、マニラ市内見学(世界遺産など)
 <マニラ泊>

12月7日(木)

午前:自由行動 マニラから羽田空港

10月の総選挙のため、12月に延期したフィリピンツアー(ASEAN議長国フィリピン訪問)を実施します。ぜひ参加しましょう。

■旅行費用

198,000円

■募集定員

30名

■締切日

11/2(木)

■申し込み

富士国際旅行社

03-3357-3377



元気の出てきた支部とともに

先日、「家の中を片づけていたら、こんな手紙が出てきました…」という手書きのメモをそえて、矢挽正道さんの夫人・和子さんから古い手紙のコピーが届けられた。

矢挽さんは日本 AALA の元常任理事で現在は当西東京支部の顧問、施設で療養中である。コピーの手紙は、その矢挽さんあてに都丸哲也さん(元保谷市長・同じく日本 AALA 元理事・現西東京支部顧問)から送られたもの。「矢挽正道様/お変わりなくお過ご

しのことと拝察いたします。/さて、秋庭さんのお話により、その任ではないのに、東京都 AALA 連帯委員会の組織拡大の取り組みに当って『呼びかけ人』を仰せつかり、参画することになりました。…」というあいさつにはじまり、については「…矢挽さんのご指導が決め手になると判断いたし…」と協力を依頼する内容であった。日付は2003年12月3日となっている。

コピーはもう一枚あった。こちらには、「AALA 設立総会準備の現在までの運動の進み具合を報告します」とゴシックのタイトルで、翌04年5月26日付、矢挽正道、佐藤晃両氏連名の「報告」。「26日現在加入確認は26名」とある。準備会で配られたものらしい。AALA 西東京支部の設立総会は、たしか同年の6月か7月であったと思う。20数名の参加で、私も

そのなかにいた。日本 AALA 理事長(当時)の秋庭稔男さんが講演。都丸哲也さんが支部長、佐藤晃さんが事務局長での発足であった。

発足からはや13年。この10年余の間には佐藤前事務局長をはじめ数人が他界され、高齢退会などもあってメンバーは一進一退、現在の会員37名、読者が9名である(2017年度支部総会)。世代継承は当支部でも緊急の課題だが、近年、支部の理事も若返り、今年は30歳代、40歳代の会員、読者も増えた。会員相互、また市民との交流の場としての「AALA カフェ」も8回を数え、実績を積んできた。国連での核兵器禁止条約決議にも見られたように国際政治の舞台でも「主役交代」が動きはじめた今日、わが支部もやや元気が出てきたようだ。

編集・発行

日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会

JAPAN ASIA AFRICA LATIN AMERICA
SOLIDARITY COMMITTEE



住所 〒160-0022 東京都新宿区新宿 2-11-7 第33 宮庭ビル 4階

電話: 03 (5363) 3470 HomePage <http://www.japan-aala.org/>

FAX: 03 (3357) 6255 E-mail: info@japan-aala.org

振替 00110-6-72434 毎月1回1日発行1部150円(送料62円)